

番号	事業名	提案委員名	担当 (担当部会)	事業概要	対応(区の考え方)
1	南区名所、史跡再開発事業	田村 義三郎	地域課 第3部会	<p>【目的】 南区内には先達の名所、史跡が数多くあるが、区民にさえ知られていないことから、案内板やガイドマップの作成、一連のコースを組み立てることにより、認知度を高めることを目的とする。</p> <p>【内容】 南区内に数多くある先達の名所、史跡について下記の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・由緒、案内板の設置 ・ガイドマップの作成 ・観光ガイドの養成 	<p>【他の事業で検討中】</p> <p>名所、史跡の看板については、今年度の第3部会で検討しており、ご意見を伺いながら方向性を探っていきます。 ガイドマップの作成・観光ガイドの養成については現在も行っていることから更なる充実を図っていきたくと考えています。</p>
2	南区の伝統・文化としての和太鼓の魅力発信	鈴木 照子	地域課 第3部会	<p>【目的】 南区内白根・味方・月潟の和太鼓チームが共有できる曲を作曲することにより、南区のイメージアップを図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 南区内の白根・味方・月潟の和太鼓チームが共有できる、南区をイメージした曲を佐渡の和太鼓集団「鼓童」に作曲してもらい各々の活動で演奏を行う。また、年1回の共演イベントを開催し演奏することで、南区のイメージアップを図る。</p>	<p>【区づくり事業では実施しない】</p> <p>平成22～23年度に区づくり事業において「白根大風太鼓創造事業」を実施しました。 「天空の陣」「宵の宴」は「白根大風太鼓創造事業」で作成された曲ですので、引き続き活用していただきたいと思えます。 まずは、区内の和太鼓チームが一体となり、合同演奏開催の気運が醸成された段階で、南区観光協会と協力しながら開催に向けて検討していきます。</p>
3	新潟市無形文化遺産 「白根小唄・白根風音頭」の次世代継承事業 ～地域の文化を後世に残すDVDの作製～	大那 孝	地域課 第3部会	<p>【目的】 地域の民舞である「白根小唄・白根風音頭」の後継者育成と記録により、後世に繋ぐことを目的とする。</p> <p>【内容】 地域の文化遺産である「白根小唄・白根風音頭」は「白根小唄・白根風音頭保存会」で唄い踊り継いできたが、メンバーの高齢化で継承が難しくなっている。そのため、後継者育成に力を入れていくとともに、踊りの一手一手をDVDに残し次世代へ確実に継承する。</p> <p>《事業計画》 30年度：DVD作製準備 31年度：DVD作製 32年度：DVD発表会</p>	<p>【他の事業で実施する】</p> <p>平成20～21年度に区づくり事業において「南区伝承芸能紹介記録事業」として南区の伝承芸能の保存・伝承を目的にDVDの作成を行いました。この時、制作されたDVDは演奏の様子を撮影したものでしたが、残念ながらご要望の「白根小唄・白根風音頭」はCDがあるため、未撮影となりました。 数多い南区内の伝統芸能をDVD化するのには難しいため、文化庁や財団で用意する補助金や助成金をご活用いただき後継者の育成に役立てていただきたいと思います。地域課においても該当の補助金を調べ、ご案内したいと思います。</p>
4	定期市活性化プロジェクト	本間 智美	産業振興課 地域課 第3部会	<p>【目的】 区内各地区で続く定期市の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 江戸時代から続く定期市が、昨今、来客数・出店数の減少により、縮小してきている。定期市は、買い物難民の高齢者にとっては、大事な買い物や社交・見守りの場でもあり、今後の高齢化社会にとってもひとつの課題解決の場になりうる。白根の定期市をモデルとして仕組みを整備し、多様なニーズに応えられるようにし、また、その仕組みを他地区へも転用できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日開催にあたる市を「〇〇マルシェ」等、呼び名をつけて広報し浸透させる。 ・土日に重なる日のみ、若い人たちが買いに行きたくする業種の出店者を戦略的に集め、出店してもらう。 ・高校生、大学生にも手伝ってもらい、彼らがまちづくりに関わるきっかけを生み出す。(彼らの意見を積極的に取り入れる。) ・ロゴ、イメージのブランディング化をし、わざわざ行きたいと思える訴求力をつける。 	<p>【区づくり事業で実施する】 →区づくり「南区まちづくり支援事業」</p> <p>定期市の活性化は、「高齢者買い物難民対策」「コミュニティづくり」に寄与するとともに、商店街及び地域の活性化にもつながるものと考えます。 今年4月、南区の明るい未来づくりを目指し、区内の民間団体を中心に「にいがた南区創生会議」が設立され、区の活性化に向けた議論を進めており、南区に隣接する三条市において、魅力的な出店により中心商店街のにぎわいづくりに成功している「三条マルシェ」を参考に、ご提案の事業の趣旨と同様の取り組みなどを行う予定です。 同会議の取り組みへの支援を行う「南区まちづくり支援事業」を通してご提案いただいた事業の趣旨の実現を図っていくこととします。</p>
5	ル レクチエ ブランディング	本間 智美	産業振興課 第3部会	<p>【目的】 ル レクチエを切り口に、食の交流から誘客を図り、交流人口増だけでなく、消費量を拡大することで、農業後継者問題の解決を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 ル レクチエは、希少価値がとて高いが、県外での認知度はとても低い。また、苗木を輸入してきたフランス本国でも、現在商業栽培されていない。そのため、ル レクチエを切り口に下記の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ル レクチエの戦略的なPR ・オルレアン市との交流事業 	<p>【区づくり事業で実施する】 →区づくり「南区ル レクチエ ブランディング事業」</p> <p>南区では、ル レクチエの加工品「ル レクチエウォーター」の試作を行っており、来年度販売を計画しています。また、国が進めている「ジャポニスム2018(日本博)」が日仏友好160周年にあたる2018年にパリで実施されるにあたり、本市も地域文化の紹介分野において、H30重点事業として予算要求・参加準備を進めています。 この機会に、フランスから輸入し栽培してきた歴史がある南区特産の「ル レクチエ」を口切に更なる認知度向上を図るため、南区独自のブランディング事業を「ジャポニスム2018(日本博)」と連携し実施したいと考えています。</p>
6	インバウンド対応	本間 智美	産業振興課 第3部会	<p>【目的】 2020年の東京オリンピックパラリンピック開催に向け、外国人客の受け入れ体制を整え、インバウンドへの対応を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 区内の外国語表示促進や、簡単な対応の講習をし、外国人観光客の受け入れ体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の案内看板の外国語表示 ・レストラン等のメニューの外国語表示 ・Wi-Fi整備 ・外国人対応講習 	<p>【区づくり事業では実施しない】</p> <p>インバウンドの対応については、来る開港150周年及び2020年の東京オリンピックパラリンピック開催を見据え、全市的な広報戦略のもと取り組む必要があると考えます。 南区においては、風合戦をきっかけとしたインバウンドの促進について関係機関等と連携しながら協議を進めていきます。</p>